

東日本旅客鉄道株式会社千葉支社への京葉線の 輸送体系の維持に係る要望書の提出について

令和 5 年 12 月 15 日に東日本旅客鉄道株式会社千葉支社より発表されました内房線及び外房線との直通列車を含む京葉線の輸送体系の変更に対し、沿線住民や企業等に多大なる影響を及ぼすこと等が懸念されるため、袖ヶ浦市、市原市、木更津市、君津市、本市の連名で、撤回及び再検討される旨の要望書を提出しましたのでお知らせいたします。

なお、要望書の取りまとめ及び提出は、沿線 5 市を代表し、袖ヶ浦市が行っております。

1 要望書提出日

- (1) 日時 1 月 9 日 (火) 午前 11 時 30 分
- (2) 場所 東日本旅客鉄道株式会社千葉支社

2 その他

要望書の内容については、別添のとおり

<東日本旅客鉄道株式会社>

要望書

令和6年1月

袖ヶ浦市 市原市 木更津市 君津市 富津市

東日本旅客鉄道株式会社千葉支社への要望

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より生活交通路線の運行・維持に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、貴社が運行する京葉線及び内房線は沿線住民の通勤・通学をはじめ、日常生活に欠くことのできない交通手段として、また、まちづくりや産業・観光の基盤として、重要な役割を果たしております。

令和5年12月15日に貴社より発表されました、令和6年3月16日に行われるダイヤ改正のうち、内房線及び外房線との直通列車を含む京葉線の輸送体系の変更についてでございますが、移動にかかる時間が増加することにより、沿線住民の生活や沿線企業等の経済活動に多大なる影響を及ぼすことや、沿線人口の流出によるまちの衰退等、まちづくりの基盤が損なわれることも懸念されます。

また、実際に、市民から多くのご意見をいただき、公共交通の利便性確保のための自治体としての対応を求められているところでございます。

つきましては、今回の京葉線の輸送体系の変更について、撤回及び再検討されることを強く要望いたします。

令和6年1月9日

東日本旅客鉄道株式会社千葉支社
支社長 土 澤 壇 様

袖ヶ浦市長

粕 谷 智 浩

市原市長

小 出 讓 治

木更津市長

渡 辺 芳 邦

君津市長

石 井 宏 子

富津市長

高 橋 恭 市